

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【公表番号】特表 2020-533477 (P2020-533477A)

【公表日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-047

【出願番号】特願 2020-535310 (P2020-535310)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/34 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

C 0 8 F 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 2/34

C 0 8 F 10/00 5 1 0

C 0 8 F 2/01

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 11 日 (2020.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 つの相互接続された重合ゾーンを有する反応器中において行われる気相中のオレフィン重合方法であって、第 1 のゾーンは「上昇管」と呼ばれ、第 2 のゾーンは「下降管」と呼ばれ、前記成長中のポリマー粒子は：

a) ガスおよび液体の混合物の供給により確立される高速流動条件下において前記上昇管を通じて流動し；

b) 前記上昇管から退出し、前記下降管に進入し、前記下降管を通じて高密度化形態で下方流動し；

c) 前記下降管から退出し、前記上昇管中へ再導入されることで、前記上昇管と前記下降管との間にポリマー循環を確立させ；

前記反応器は、前記上昇管ガスの露点を越える 0 ~ 5 の温度において前記動作圧力において動作され；さらに前記上昇管中において、前記成長中のポリマー粒子およびガス流れに加えて、一定量の液体も存在する、方法。

【請求項 2】

前記 2 つの相互接続された重合ゾーンは、前記下降管の上部中に「バリア流れ」と呼ばれる液体および / またはガス流れを導入することにより、前記上昇管から来た前記ガス混合物が前記下降管に全体的にまたは部分的に進入する事態を回避するように動作され、前記「バリア流れ」の組成は、前記上昇管中に存在する前記ガス状混合物と異なる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記バリアスチームは：

i . 10 ~ 100 モル % のプロピレンと、

ii . 0 ~ 80 モル % のエチレンと、

iii . 0 ~ 30 モル % のプロパンと、

iv . 0 ~ 5 モル % の水素と、を含む、請求項 2 に記載の方法。